



平成24年3月

杉並区立富士見丘中学校

第1号

学校運営協議会だより



浴風園での花壇作り



合唱コンクール



パワーアップスクール



運動会



地域清掃



浴風園での野外演奏



赤ちゃんふれあい授業

地域とともに



くまがみ とおる
熊耳 徹

とおいよしお 東井義雄という教育者がいます。ある日彼は、自分が勤務する学校に向かって、真摯に手を合わせている村人に出会います。彼は村人のその姿に感動すると同時に教育に対して責任を感じます。そして、今以上にこの村の子どもたちのために力を尽くそうと決意したといいます。彼は貧しい村を再建するには、子どもの教育が欠かせないと主張し、村人と共に努力をしていくのです。そこには、地域とともに子どもの可能性を引き出そうとする学校の原点があったのです。

しんし 本校は平成23年4月に、「地域運営学校」に指定されました。学校と保護者や地域が知恵を出し合って、子どもたちの可能性の発露のために、具体的な行動計画を推進していく協同組織の第一歩を踏み出しました。これから、保護者・地域の皆様と一緒に、学校づくり・まちづくりに取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

学校運営協議会委員の紹介

会長ごあいさつ

子どもたちの代弁者として

私塾主宰
NPO法人日本スクールソーシャルワーク協会理事



ちよう しゅんすけ
長 俊介

いろいろな子どもたちと、いろいろな場面で、泣いたり、笑ったり、怒ったり、怒られたり、たくさんの思いを受けとめて30年になります。そんな子どもたちの代弁者になればと思い、この委員をお受けしました。富士見丘中学校とは、学校評議員として関わってから10年になります。学校や先生が、子どもたちの抱えている困難をすべて解決することは、不可能だと思います。また、地域や親だけで解決することも不可能だと思います。それぞれがお互いを信頼し、つながっていくことで、見えてくるものがあるのでは、と思っています。でもそれは、一朝一夕にできることではありません。この制度が、そのアプローチになればと期待しています。



すぎえ み え こ
杉江 美枝子

本校の良さを地域に伝えたい

16～19年度青少年委員
高井戸青少年育成委員

かつて青少年委員・図書ボランティアとして生徒達と楽しく過ごしました。当時も今も素直で明るく挨拶をする良い子ども達だと感じています。息子2人も卒業生ですので、私は本校に思い入れがあります。地域には他の中学へ行く人もいます。本校の良さを地域に知らせたいです。



すずき ひさお
鈴木 久雄

生まれ育った地元へ貢献

同窓会役員(18期生)
杉並区防犯パトロール隊他

富士見丘に生まれ、育ち、少しでもこの町に貢献できればと活動しています。地域の活動を含めて、いつ・どこで・何を・出来るだけ、少しの時間でも、少しの力でも、集まれば大きな力になります。お互い助け合いながら、いい仲間と活動しています。地域とのパイプ役になれば幸いです。



たなか きょうこ
田中 恭子

次世代をになう子どもたちのために

16・17年度PTA会長
19年度より青少年委員

故郷山形よりこの地域での生活がずっと長くなりました。3人の息子たちの故郷であるこの地域が、私は大好きです。そして、たくさんの人々との出会いに感謝しています。次世代をになう子どもたちのために、私の思いと時間が少しでもお役にたてばとても幸せです。



みやはら ひろみ
宮原 弘美

杉並「1」の中学校目指し

元PTA会長、学校支援本部JOINT本部長
臨床心理カウンセラー

3人の子どもの保護者として長年かかわってきた富士見丘中に、地域の者として再びかかわれる機会をいただきました。さまざまな立場で中学生と触れ合えることを大変嬉しく思います。富士見丘中が杉並「1」の中学校になるよう、みんなで目指しましょう!!



やすえ みすき
安江 水城

町会長として地域と学校をつなぐ

富士見丘町会会長、育成会副会長
富士見丘中震災救援所会長他

富士見丘中学校3期生、戦中生まれの頑固爺。今は好きな趣味(釣り、ゴルフ、旅行)も少なくし、町会長として地域と学校のパイプ役になりたい。生徒達には時々厳しく接することがあるかもしれませんが、根はやさしいお節いな爺でもある。子供・孫も富士見丘中卒業及び在学中。



やすだ ともこ
安田 智子

有意義な生徒の学校生活第一に

14・15年度PTA 会長
リサーチ関連業務会社経営

「学校運営協議会とは？」で始まった模索の日々ですが、「富士見丘中の生徒達が有意義に学校生活を送るためには？」と考えた時、何をすればいいのかがわかる気がしました。生徒の皆さんが今後の人生を「自分で選んで生きる」ことができるよう、精いっぱいサポートします。



やぶき まさのり
矢吹 正徳

取材の蓄積を学校づくりに役立てたい

日本教育新聞社勤務
毎日悪戦苦闘しています。

富士見丘中とは、学校評議員をお引き受けして以来、10年ほどのおつき合いになりました。ふだんは、全国の小・中学校などを訪問、記事を書いて教育専門の新聞を制作しています。今までの取材の蓄積が少しでも学校の役に立てばと、時々おじゃましています。

[事務局]



うの りょう
宇野 亮

地域に信頼される学校へ

富士見丘中学校副校長

学校運営協議会の事務局を担当しております。富士見丘中学校に赴任して2年目になりました。馴染みのある地域に來られたこと、皆様に出会えたことに感謝しております。本校が地域の学校として信頼されて発展していけるように、事務局として力を尽くします。



部活動

FUJIMIGAOKA JUNIOR HIGH SCHOOL



学校全景



赤ちゃんふれあい授業



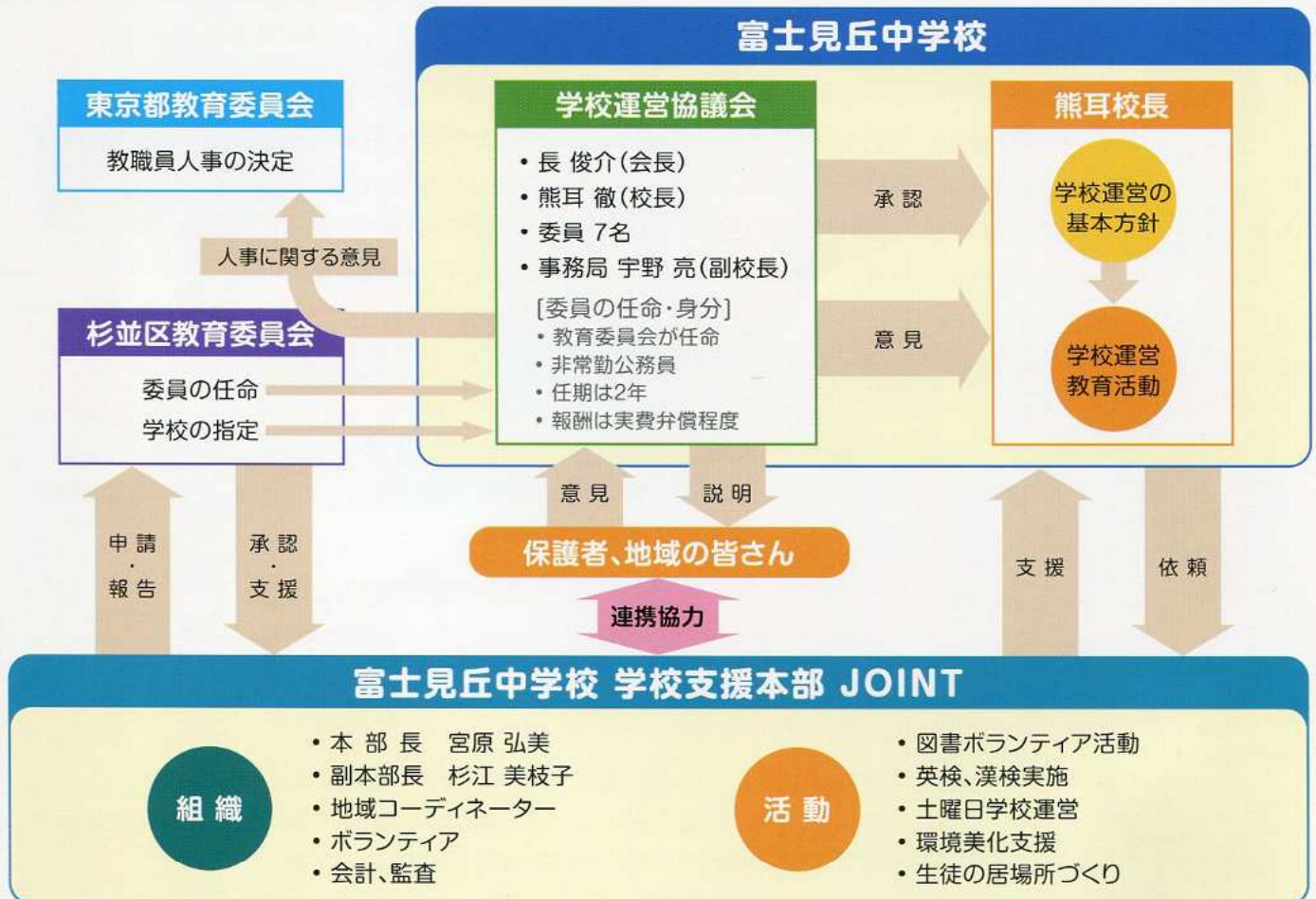
書道師範授業



浴風園花壇での草とり

富士見丘中学校は 平成23年4月より 地域と共につくる学校 地域運営学校(コミュニティ・スクール) になりました

地域に開かれ、信頼される学校づくりを目指して、保護者・地域の方々や学識経験者が学校運営協議会委員となり、一定の権限と責任を持って活動しています。学校運営協議会では、保護者・地域の皆さん・子どもたちの声を受けとめるとともに、月1回会合を開き、教職員と学校運営について協議しています。



学校支援本部は

地域住民や元保護者らが中心になり組織された学校の支援団体です。

学校支援本部 JOINTは

学校運営協議会より1年早い平成22年4月にスタートしました。**JOINT**には、学校～家庭～地域を「つなぐ」という意味が込められています。学校運営協議会とともに、富士見丘中学校を支えています。



土曜日学校

小学生・大人も
漢検
受験中!



漢字検定